

- ・創造する生徒
- ・心豊かな生徒
- ・鍛える生徒

「認知症サポーター」

校長 佐藤 和 男

来週から秋本番の10月になります。よく「〇〇の秋」と言います。スポーツ、芸術、行楽、収穫、食欲、読書などが思い出せるところですが、今年の秋は、この〇〇に何を入れようか考えるのもちょっとした楽しみです。皆さんなら何を入れますか？

さて、先日の校長朝礼で「敬老の日」について話をしました。その中で、西中生にはお年寄りや弱い立場にある人たちに、少しでも優しい言葉や行動をとってもらいたい、いつもお願いしている「あい」のあふれた西中生になってもらいたい、という願いも伝えました。丁度その日の午後、2年生は総合の福祉学習として「認知症サポーター」講習会を実施しました。当日は、西区内のシニアサポートセンターの主催でボランティアの皆さんと協力しながら活動している「劇団にしく」の皆様に来校していただきました。子どもたちにわかりやすく、とても楽しい演劇を通して認知症について学習することができました。（劇には先生方も出演し、素晴らしい演技でした。）そして、子どもたち全員が講習会を受講した証として、オレンジのリストバンドと認知症サポーター証をいただくことができました。実施後のアンケートには「認知症について今までほとんど知らなかったけれど、今日の劇でその人たちにどのように接すればよいか、とても勉強になりました。」などの感想が多数ありました。社会の状況に目を向け、福祉について考えることができた、とても有意義な学習会であったと思います。

話は変わって、9月16日（土）に大宮西中・文化発表会が行われました。今回初めておこなった自分のおすすめの本を紹介する「ビブリオバトル」、理科研究発表、英語弁論・暗唱、海外派遣生徒報告は、大変興味深い、立派な発表ばかりでした。さらに剣道部による真剣な形の演技、吹奏楽部の素晴らしい演奏、演劇部のコミカルなせりふや熱演、技術部のパソコンでの作品と恒例のダンス、そして最後の6組（生活部）の発表では心温まるハンドベルの演奏と元気いっぱいダンスを披露してくれました。また、美術部・家庭科部・各教科の展示も力作がそろいました。さらに、企画や当日の運営に当たった生徒会本部のメンバーも本当によく頑張ってくれました。まさしく今年のテーマ「西中のフルコース」にふさわしい大変盛りだくさんの内容で、ここでも、お互いに応援しあい、協力しあい、助けあい、認めあい、学びあい等、「あい」のあふれる素晴らしい文化発表会になりました。

すでに9月24日（日）から、さいたま市中学校新入体育大会が、市内各会場で始まっています。各運動部とも、夏の猛暑の中厳しい練習を乗り切り、新チームでの最初の公式戦になります。自信と誇りを持って試合に臨み、栄光を手にしに欲しいと思います。また、10月28日（土）に、合唱コンクールが本校体育館を会場にして開催されます。各クラスが練習に取り組んできた歌声を披露する合唱コンクールに、ぜひ、多くの皆様に来校いただき、歌声を聴いていただきたいと思います。そして、6組の子どもたちは、楽しみな長瀬での宿泊学習が待っています。

今後も愛のあふれる西中生のために、ご支援ご協力をお願いいたします。



9月28日より、アシスタントティーチャーとして千葉晴哉先生が着任しました。安全点検の結果、特に異常は認められませんでした。